かぜ ひかる　２０１６年１月号
全国福祉保育労働組合東海地方本部
〒４５６－０００６
名古屋市熱田区沢下町９－７
労働会館東館４０５
TEL 052-881-2971
FAX 052-881-2998
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp
http://www.fukuho-tokai.jp/
発行責任者／寺坂　渉

2016年 キーワードは 勇気・発信・対話

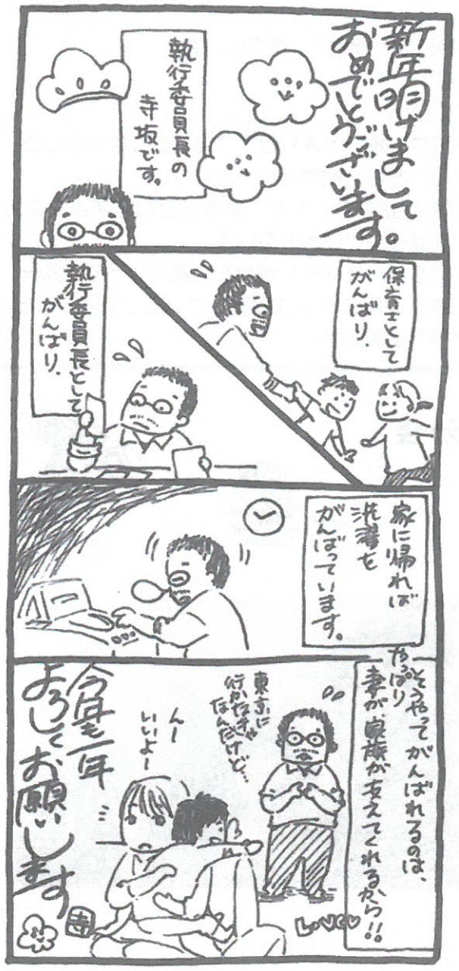
新年明けましておめでとうございます。昨年はみなさんどんな一年だったでしょうか。安全保障関連法（戦争法）の強行採決から、社会福祉法の改悪の問題など、私たち福祉・保育労働者が大切にしている事を根底から覆すような事が多く起きた一年でしたが、それに反対する多くの国民が、さまざまな問題を自分の事と捉え行動していく姿が見られた年でもありました。

東海地本においても、平和について考える有志の会“ＬＤＴ”の結成など、自分たちの要求として活動する姿が広がっています。12月23日のクリスマス街宣では、自分たちの立場だからこそ発言できることを考えて市民に訴えました。

多くの人たちに向かって、私たちの想いを語る事はとても大切な事ですが、恥ずかしかったり、本当にコレでいいのかな…と自信が持てなかったりします。

でも勇気を持って語る事で、私たちの大切にしている事を伝える事ができ、それが私たちの専門性を多くの人に知ってもらえる機会になります。今年は、この緊迫した情勢を打開すべく、みんなで多くの声を発信していろいろな人と対話をしていきましょう。それが私たちの専門性が社会的に認められる第一歩になります。みんなで共に前進できる一年にしていきましょう！

執行委員長 寺坂 渉



［風の音］

先日、私の担任するクラスに、大学で保育を学ぶ学生さんが2週間の実習に来てくださいました。初めての保育園実習ということで、不安な気持ちでいっぱいな様子でしたが、積極的に子どもたちと関わり、だんだん、子どもたちと楽しそうにあそぶ姿が増えていきました。学生さんが一生懸命に子どもたちと関わっている姿を見て、『私のはじめての保育園実習ってどんなのだったっけ？』とふと思い、とっても久しぶりに自分自身の実習日誌を見返してみました。不慣れながらもなんとかあれこれ奮闘している様子が書かれていて、ほんの数年前のことですが、懐かしく、ちょこっと恥ずかしい気持ちになりました。実習を終えての感想のところに書いていたことを少しだけ抜粋して紹介します。『今回の実習でとても印象的だったのが、保育者の方々の笑顔と毎日子どもたちと楽しそうに生活している姿でした。私も積極的に子どもたちと遊び、いつも笑顔を絶やさず、積極的に様々なことに挑戦していきたいと思いました。私も“ガハハ”と大きな口でいつも笑っている保育者になりたいです。』―今の私は、あの時の実習でお世話になったあの素敵な保育者さんには近づけているのかな？あの時感じたように“ガハハ”と毎日楽しく笑えているのかな？“あの時”の気持ちをもう一度思い出しながら明日からの保育を頑張っていこうと改めて思えました。

（ポムポムプリン）

あけましてことしもよろしくおねがいします

【新コーナー】地本カルトクイズ

たくさんのご応募お待ちしてます！

組合員がたくさん増えています。新しく組合の仲間になってくれた皆さんに、もっと東海地本のことを知ってもらおうと新コーナーを考えました！

今年は、結成25周年にあたり、記念行事も盛大に行い、25年の歴史の積み重ねを後に伝える記念誌も作成できました。この記念誌の中から、毎号の風光るに3問の地本カルトクイズを出題します。皆さん、ぜひご応募ください。

【1回目の当選者】お題：クリスマスの過し方の妄想は?
長尾 倫子さん(くさのみ分会)
「にののトランプマジックで盛り上がる」
八萬 史織さん(かわらまち分会)
「美味しいチキンと美味しいケーキと美味しいワインを飲みながらひたすらカラオケで歌う?」

【１回目の正解】
１問：地本の生年月日は?→1990年3月11日
２問：15グリフェスのﾃｰﾏは?→enjoy!仲間と共に笑顔のwa
３問：地本の合言葉は?→仲間がいるってうれしいね

【第２回目カルトクイズ】
第１問：青年部ができた年は？
第２問：1998年の夏期組合学校の記念講演の講演者の名前を、ひらがなフルネームで答えて下さい
第３問：東海地本一番最初の執行委員長は？
お　題：「卒業式の思い出は？」
〆　切：2月29日（月）

回答応募の際には「お題」にそって一言メッセージも書き添えてください。

全問正解の方のうち、3名の方のメッセージを紙面に掲載し紹介します。見事掲載された方には地本風光るから1000円の図書カードを進呈します。

是非、ＦＡＸかメールでお気軽にご応募ください！
ＦＡＸ：052-881-2998
E-mail　fukuhotk@onyx.dti.ne.jp
（件名にカルトクイズと記入のこと）

15秋闘労働組合講座を終えて ～16春闘、分会での討議につなげよう

「15秋闘労働組合講座」（12月12日開催）は、働く上での悩みを出し合い、どうしたら解決に向けていけるのかを考えて作ってきました。悩みとして多かった保護者との取り組みについては、各分会に、各年代でどのような大変さを抱えているか、負担が減るようにどんな工夫をしているか、のアンケートを行い向き合ってきました。

大変さでは、どの年代も「体力的な問題。疲れるのに振休が無いことで実践が不安になる」とあり、子育て世代からは「自分の子どもにも無理をさせる」という声もありました。「職員がほぼ段取り、保護者同士のつなぎ役も担うので責任も重く精神的に負担」はかなり多く、経験のある年代からも「昔と違って、職員の負担が増え保護者と共同とは言えなくなっている」とありました。工夫していることでは、「会議準備や雑務などはできるだけ勤務時間内に行うようになってきたが、実践を抜けてというのは無理で負担軽減になっていない」という回答がほとんどでした。

当日は、バザーや祭りが勤務扱いとなっている社会館からの報告を聞き、振休は長期間で協力し合って取得していることを知りました。グループ討議で、「やっぱり（バザーが）しんどい」という本音の話もしつつ、「保護者との取り組みは大変な反面楽しさも感じるし、繋がっていくことでその家庭への理解を深めることにもなり、日々の実践に大切な役割を担っている」という認識も語られています。「仕事でやっていても、職員間の意識の差がしんどい」という声もあります。浮かび上がってきたものは、「この仕事が好き、でもしんどいなぁ、働き続けられるかなぁ」という率直な声でした。

最後の、グループからの全体シェアで、「自分はしんどいとか、ここに困っているとか言い合える職場関係であることが大事と思った」「自分たちが働き続けられるようにということを考えて行動していくのが組合だなと思う」などが報告者から述べられました。

そうです！　今、組合として大切にしたいことは、自分たちのしんどさをそのままにせず、みんなで話し合うこと。分会で、まずはしんどいことも出し合って、そこから「誰もが生き生きと働き続けられるために」どう取り組むかを深めましょう。自分たちの仕事の喜びや専門性も語りながら。職場へ要求すること、国・自治体への運動、お互いが支えあうこと、討議し整理して、いろいろな形で労働組合力を発揮する16春闘にしていきましょう。（12/21送付「春闘方針案」参照）

【編集後記】機関紙担当になりあっという間に1年と少しが経ちました。これまで「風光る」の記事を会議で内容などを考えるだけでしただが、2年目ということで担当の自分たちで打ち込み・構成も行うことになりました。11月号の時に専用ソフトの使い方を教えてもらい、この新年号から実際に作ってみました。初めての作業は、担当全員で集まり行いました。クリスマスの日だったので、ケーキやお菓子の差し入れもあり、使い慣れないソフトにアドバイスをもらいながらみんなでアーダコーダ言って作りました。私はパソコンなどの機械が苦手だったので、記事が完成できるか不安でしたが、なんとか1ページが出来ました。記事の内容もそうですが、専用ソフトの使い方や記事の構成などまだまだ未熟者なので、アドバイスをもらいながらこれからも「風光る」を作っていこうと思います。また、組合員の方たちが読んでくれるような記事の内容も色々考えていきたいです。皆さんからのご意見をお願いします。（不二子）

2015年冬
続☆平和について考える

すずかけ共同作業所分会
新城　圭祐

動き始めた Let, s Do Together（一緒にやろうぜ！）通称LDT。これは福祉労働者、保育労働者等の戦争法に反対する有志の仲間たちです。私たちは福祉の現場、保育の現場の最前線に立って、世の中を見つめています。そんな我々だから、社会に訴える力も大きいのだと思います。

私は現場のみんなと接する中で、今の政府の進める政策に異議を感じるもののどうやって動いたらいいのかわからないジレンマを抱える人にたくさん接してきました。自分自身も世代の違う仲間に訴える事は積極的に行いませんでした。やはり・・・「おじさん、何、熱くなってんの・・・」と思われるのが怖かったのだと思います。

しかし、勇気をふりしぼって声をかけてみると、ほとんどのみんなが真剣に対話してくれるのです。いろいろな疑問、質問、時間を忘れて3時間も話し込んだ事があります。もうこうなったら行動するしかない！の思いでLDTを立ち上げました。LDTは一緒にやろう。手をつなごうと言う意味があります。仲間と対話する中で、この人たちと動き出したら社会は本当に変えられる。手を離さなければどんな問題でも乗り越えられるという、自分の気持ちが名前には込められているのです。

栄でのクリスマス街宣終了後
労働会館でクリスマスパーティ

私がSEALDsに出会った8月30日からちょうど3か月目の、11月30日に12名の仲間が地本の会議室に集まり結成されました。1人1人が自分の仕事に誇りを持って、戦争法を廃止すると本気で思っている仲間たちです。自分の知らない事を聞くには勇気もいります。しかし、メンバー全員、本気ですから議論白熱中です。困っているのは、白熱しすぎて終了時間が毎回遅くなってしまう事です・・・

メンバーはまだまだ募集中ですし、戦争法を廃止するためにいろいろ企画進行中です。12月23日には、手書きの横断幕を持って、初の栄街宣を行いました。一人一人が自分の言葉で訴えました。みなさんもメンバーになってぜひアイディア聞かせて下さい。

12/23 1回目の街頭宣伝（名古屋市中区栄）

最後に、自分の事で恐縮ですが・・・若い人に本当に申し訳なく思っています。いろいろな社会の矛盾に気づいていながら、見て見ぬふりをしていた私たち世代。そんな見て見ぬふりが社会的に弱い人を踏み台にする今の政府を作った最大の原因だと考えます。もう、私は見て見ぬふりで逃げません。手を組む感動を味わいました。後は、この感動を広げて日本を変えるだけです。私は本気で変えられると思っています。そして、その時こそ憲法9条が生かされる本当の平和な日本の姿だと思っています。

Let's Do Together 12月23日 クリスマス街宣 アピール文

私たちは福祉労働者・保育士の有志です。2015年9月19日の戦争法の成立に怒りを感じ立ち上がりました。政治を語るのに勇気がいります。デモに参加するのに勇気がいります。街頭宣伝でマイクを握るにはもっと勇気がいります。しかし、日本は私たちの国です。国をつくっていくのは主権者である私たちです。この国は強いものが弱いものを踏み台にして成りたっています。そんなのおかしい！弱い立場の人たちに寄り添って仕事をしている私たちにできる事があるはず。これからの時代を担う子どもや若者と「未来への約束」これをメンバーの共通の思いとして、今日街宣活動を行います。

少子高齢化が叫ばれながら、待機児童の問題は全く解決されません。見せかけの待機児童対策で保育園に子どもがどんどん詰め込まれます。そこで働く私たち保育士は毎日過密労働です。

福祉の現場では公的責任がどんどん低下し、障害を支える事が社会の責任から、自己責任の名のもと、個人の責任転嫁されています。そこで働く福祉労働者は常に低賃金、長時間労働、過密労働で人手不足です。

若者たちは大学に通うのに多額の授業料が発生します。家族に迷惑をかけないようにアルバイトを重ね、そして、奨学金という名の借金で、社会に出た時にはマイナスからのスタートです。

高齢者は毎年のように上がる消費税、毎年のように下がる年金。生活保護は水際作戦という非人間的な行為で、人間らしく暮らすことすら否定されています。

沖縄では戦後、アメリカ軍の基地を強制的に押し付けられ、自分たちの土地を強制的に徴用され、あげくの果てに自然豊な海を埋め立てられ辺野古にアメリカ軍の基地を押しつけられようとしています。

こんな非常に貧困な社会保障を放置して、安倍政権は戦争法を可決しました。戦後70年、平和主義の柱は憲法9条でした。その、憲法9条で認められない集団的自衛権を認め、戦争が普通に行われる国を作ってしまいました。私たちは諦めるわけにはいきません。福祉、保育の現場で社会的弱者の立場が一番わかるものとして社会保障の充実を求め、その対極にある戦争法の廃止を求めます！

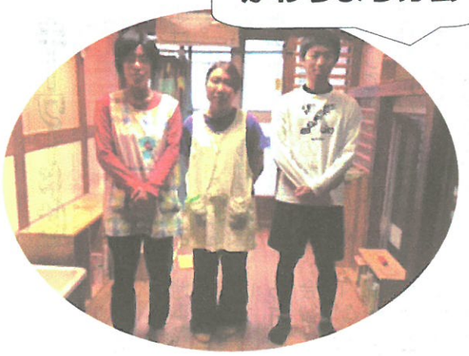
年男・年女の人に、今年の「さる」にちなんだ質問をしました。

【設問1】「猿も木から落ちる」ということわざがありますが、あなたが猿も木から落ちた経験は？
【設問2】あなたの意馬心猿は？（欲望に心乱され落ち着かないこと、または欲望を抑えることができないこと）
【設問3】一世一代の猿芝居は？

【シリーズ・名物組合員】
新春特別バージョン「年男・年女」紹介

申

かわらまち分会



鈴木美香（左）
1、勤務時間を間違え、遅刻したこと
2、睡眠
3、特にない

樋田千夏（中央）
1、調理中、思いっきり包丁で自分のつめを刺した
2、どんなときも食欲を抑えきれない
3、就職活動でのＥＳで、無理矢理に卒業論文の内容を盛って大げさに書いた。

加藤卓也（右）
1、自信のあったマット運動を公園でやって怪我…
2、好きな映画のグッズが売っていると買ってしまう。
3、高校入試の面接

そよ風分会

濱田美穂（左）
1、器用でないので落ちてばかりいます(笑)
2、しましま。しましましてるものはついつい買ってしまいます。
3、器用でなのでいつもしてます(笑)

松下晴美（中央）
1、落ちたことないです！…登りつめたことがないので。
2、欲しいものならハリネズミです。猿ではないです。
3、私ウソとかつけないんですよ～。

坂本陽子（右）
1、そんなに器用ではないのでいつも落ちています。
2、食べること。
3、うーん、割といつもです。

ゆたか支部

市原佳恵（左）
1、そんなに得意なものがないので、特にないです。
2、食べることです。この前、無性に団子が食べたくなり、団子を買うためだけにスーパーに行きました。
3、特にないです。

小澤久志（右）
1、ない
2、私の意見が自宅で通らない…、
3、相手にわかるような嘘をついたとき